

繁栄

Vol.377

●トップインタビュー

増幸産業株式会社 増田幸也社長

●心がけよう、セルフ・ヘルスケア

簡単に効果の高い健康法「よく噛む習慣」

●くつろぎの旅—名湯めぐり、味めぐり

奥湯河原温泉(神奈川県)

●GOLF20番ホール

練習場で上手になる練習法⑦

●エンジョイ・アウトドア 釣り⑥⑥

●繁栄おすすめ本 ●日本・酒紀行⑤④

ビジネス・トピックス

消費者の節約志向と環境意識が追い風

進化する中古品ビジネス

特集のキーワード

Re(資源再生)エコノミー／自由価格本／「PSC」マーク／3ケン消費

10

2011
OCTOBER

sun mon tue wed thu fri sat

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 体育の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

BESTパートナー
三井生命

わが社の転機
「そのとき私は…」

トップインタビュー

増幸産業株式会社
代表取締役社長 増田幸也氏

超微粒粉碎技術で 世界一のメーカーを目指します。

欧米の機械に負けない
回転数を実現

先代の社長（私の父）が、砥石同士を密着させ高速回転させても割れない無気孔グラインダー（砥石）を使った超微粒摩砕機「スーパーマスコロイダー」を、十年の歳月をかけて開発しました。この機械で数々の発明賞、技術開発賞を受賞し、世間に広く認知されました。このときの回転スピードは毎分1500回転でした。回転数の上昇は、そのまま粉碎する素材の広がりや精度のアップに貢献するのです。

若い頃、営業先に納入されている欧米製の機械を見て、その精巧さや完成度ではとても歯が立たないと思いました。このときの悔しさが開発に向けての情熱になりました。

3000回、8000回と進化した頃、あるお客さまから「アメリカ製に負けない粉碎機を、ぜひ増幸さんに造ってもらいたい」というチャレンスを頂いたのです。いろいろな協力

を頂いて開発に着手し、三年かけて毎分12000回転を実現しました。

できてからも材質、切れ味、刃の形状などの問題をクリアするのに五年かかりました。これが超高速回転の精密粉碎機「ミクロマイスター」です。相当な金額と時間を費やしたことになりますが、この粉碎機は今でも、世界中でアメリカ製と私どもの深き機械なのです。

今では食品から医薬品、化粧品、工業素材までダイアモンド以外のあらゆる物質を超微粒粉碎する機械をお客さまに納入しています。

品質向上の基本は人づくり

私は、品質管理はものづくりの基本だと思っています。十七年前から「5S活動」を始め、常に開発力を維持できる体制を作ってきました。そのための企業体力の鍵は、社員の



成長だと考えています。私どもでは品質を広い概念で捉えています。品質はまさに人質（じんしつ）です。その意味で品質向上の基本は人づくりでしょう。

社員には「全力投球しよう、製品は五感で考えろ」と常に問いかけています。この5S活動も、一昨年夏に「五感の指標をつくってほしい」という社員の提案で「仕組み」が加わり、私も独自の「新6S活動」に発展させ、取り組んでいます。品質の進展に終わりはありません。

ものづくりの心を
次の世代に

私は売り上げ至上主義ではありません。「結果よりプロセス」と常に言っています。自分でできることを精一杯、一所懸命やったら、必ず結果はついてきます。

一昨年、多機能ミル「スーパーマスコロイダーα（アルファ）」を開発しました。これは砥石を取り、十種類の粉碎ヘッドをつけてさまざまな粉碎機として使えるものです。これもお客さまから「他の粉碎機能があれば、おたくの機械をもっと使うのに」と言われたことがきっかけでした。お客さまからの声を聞き漏らさないことが大事です。

おかげさまで現在、国内でのシェアはトップですが、もっと進化して超微粒粉碎機の会社として世界一になりたいと思っています。

私は入社して三十年になります。その間、組合問題などいろいろなありました。増幸は来年で九十周年を迎えますが、百周年まで頑張つて、ものづくりの心を次の世代に引き継ぎたいと考えています。（談）